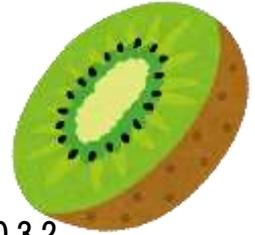


# キウイフルーツ特報 No.1



2020.3.2

JA 中野市営農センター

JA 中野市キウイフルーツ研究会

暖冬により生育の進みが早くなる予想です。園地の生育状況をよく観察し、予防を意識した防除を実施しましょう。特に、カイガラムシの果実被害が散見されますので、発生園は今回の防除を徹底して行ないましょう。

## 病害虫防除

### ◎発芽前の散布(3月下旬～4月上旬)

散布薬剤	水	90ℓ	散布日	月	日	
	展着剤	10mℓ		散布量	ℓ	
	石灰硫黄合剤	10ℓ				
対象病害虫	カイガラムシ類					
散布量	10a当り300ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。					

## 注意事項

- ① 石灰硫黄合剤は、他の園地や隣接するハウスビニールにかからないように散布してください。
- ② 剪定跡には必ずトップジン M ペーストなど癒合剤を塗布してください。
- ③ **果実軟腐病対策** : 前年度の着果痕(果柄)には、果実軟腐病の越冬菌が潜んでいます。着果痕を切除し、越冬菌を減らしましょう。

次回予定：4月17日(金)

・開花直前の散布について